

歴代会長

初代	中谷 千章	昭和27年～平成 6年	42年	四代	小林 利忠	平成14年～平成16年	2年
二代	小林 利忠	平成 6年～平成13年	7年	五代	石崎 卓	平成16年～平成23年	7年
三代	浅見 亘弘	平成13年～平成14年	1年	六代	八東 重宣	平成23年～	6年

上ノ原の由来

上ノ原町会は、昭和42年に東中野2丁目に表示変更した際、旧町名を踏襲したのですが、JR東中野駅西口から山手通り沿いに南西に広がる、縦長の長方形に近いまちです。

上ノ原の地名について、明治9年の地図ではこの地区は「北多摩郡中野村大字原町字上ノ原」とあり、文字通り原地区で高い場所を示す、古くからの呼称のようです。

まちの今昔

今は商店も殆んどない山手通りから一步西に入ると、そこはとても静かな住宅地となります。戦前から戦後にかけては、過去に将官や爵位を持った人も住む「お屋敷まち」と言われていたようですが、今は山手通りには高層のビルが並び、まちなかには低層のマンションが増えています。まちは、昭和21年に立てられ昭和25年に変更された「環6（山手通り）都市計画」に基づき、長い年月の工事を経て平成27年3月に完成した、山手通りの拡幅により大きく変化しました。以前、町会活動を支えていた商店・事務所が立ち退きにより去られたことにより、町会のカラーもまた変化しました。

町会の今

昭和27年に、新制「上ノ原自治会」としてスタートした本会ですが、東部地区の他町会に合せ、平成22年に「上ノ原町会」へと呼称変更をしました。

役員・運営委員は女性・サラリーマンOBが中心で、月1回の定例理事会・防災会役員会を軸に、四十数名の班長の協力を得て活動しています。

活動の内容は特異なものはありませんが、新しい課題には積極的に取り組み、無駄なことはせずに、チームワークを最も大切にして、地道に・着実にこなすことをモットーにしています。

活動の拠点としては、町内唯一の公園で大変狭い「上の原公園」をフルに活用しています。

力を入れている活動は、平成16年から励行している月2回の防犯パトロール、年間約110トンを集める集団回収、防災訓練・防災啓蒙、見守り名簿に基づく全戸訪問などですが、青少年部を中心としたイベントとして2月の「餅つき大会」7月の「納涼祭」も大きな柱です。

狭い公園に、想像以上に大勢の子供達の声が聞こえる楽しいイベントですが、これに併せて、防災会による「防災訓練」も欠かさずに行っています。

課題

災害対策などにおいて大変重要な「地域力強化」のためには、地域住民の相互交流が鍵ですが、十分とは言えないのが現状です。より多くの人々がより気軽に・積極的に、町会活動に参加して頂けるよう、努力していきます。町会役員の高齢化も課題ですが、夫々の仕事に区切りがついた70歳代が中心となることは止むを得ないとも言えます。少しずつですが、若手役員の参加が図られているのが現状です。



ピンクカラーの上ノ原（平成28年東部まつり運動会）